



平成30年度(2018)秋季地区予選

P(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	元石川	横浜立野	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		1-14	8-6	3	-11	2
元石川	14-1		10-1	6	22	1
横浜立野	6-8	1-10		0	-11	3



平成31年度(2019)春季地区予選

C(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	磯子工	白山	新栄	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		9-8	0-10	2-4	3	-11	3
磯子工	8-9		2-12	4-11	0	-18	4
白山	10-0	12-2		8-1	9	27	1
新栄	4-2	11-4	1-8		6	2	2



第101回全国高校野球選手権神奈川大会

【2回戦】15日 小田原球場

試合時間 2時間43分

希望ヶ丘 0 0 2 0 0 1 0 0 0 0 0 0 | 3

舞岡 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1x | 4

(延長12回)

(希) 松原壮-田中陸

(舞) 金子留、中里-池内

▽三塁打 三宅(希)

▽二塁打 上家(希) 池内、平野(舞)

▽犠打 田中智2、板谷、富永、三宅(希) 末広、金子留(舞)

▽盗塁 上家2、松原諒、三宅2(希) 末広、池内(舞)

▽失策 中里2、池内(舞)

「野球部三年間の思い出」

松原壮汰

K72 野球部は、まれにみる人数の少なさに驚きながら始まりました。「高校野球」に期待と不安を抱きながら6人でスタートした私たちでしたが、早々に1人が離脱。少しでも戦力になれるように練習や試合に励みましたが、最初の夏の大会の背番号は50音順で決定。同じ苗字のやつに競り勝って19番をつけました。その後、新チームが始まり、旧部室を使えるようになってから離脱したやつが仲間を連れて帰ってきて、K72は7人になりました。のこのこ戻ってきたことに少し腹が立ちましたが、連れてきたもう一人がいいやつだったので許すことにしました。K71の先輩と合わせて17人(プレイヤー13人)で秋の大会に向けて練習に取り組みました。私は目標としていた背番号6をもらえましたが、直前の坂道ダッシュで転倒し試合には一切出られず。かなりもどかしい思いをしたことが印象に残っています。そこから西部地区・春の大会を経て、K73という新たな仲間も加わり、背番号7をつけて二度目の夏の大会に挑みました。一勝をあげることができましたが、自分自身としては不甲斐ない結果に終わってしまい、情けなかったです。そして部室がグレードアップし、迎えた最終学年としての高校野球。私は主将を務めることになり、秋の大会では背番号1をつけましたが、結果は大炎上で県大会には行けず。かなり悔しかったです。それでも日々の練習に懸命に取り組み、マネージャーのおにぎりを食べて力をつけていきました。迎えた西部地区の決勝では下ネタ大好き人間のタイムリースリーベースのおかげで勝つことができ、優勝することができました。冬のきついランメニューを乗り越えられたのはこれが大きかったと感じています。もちろん野球以外の部分でも、自分たちなりにリノベーションした部室で、誰も知らないようなマイナーなゲームを爆音で楽しんでいるやつがいたり、個性のある人たちと充実した毎日を過ごすことができました。そして集大成となる夏の大会を迎え、舞岡高校と対戦しました。気温が低く夏らしくない気候でしたが、延長戦までもつれこむ熱い試合でした。最後は私が打たれてサヨナラ負けを喫しましたが、充実感・達成感は非常にありました。この希望ヶ丘の野球部に入って本当に良かったと心から想っていて、一生の財産になる貴重な経験を積むことができたと考えています。